

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 ( 17 : 30 ~ 18 : 00 )

1. 初期支援 (はじめのかかわり)

メンバー 梶川 芦田 足立 山本 井上 齋藤 藤原  
足立 (洋) 岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	6 人	4 人	1 人	人	11 人

前回の改善計画

利用開始前までの情報と実際の状態や状況と相違がある場合が多々あるので、利用者の状態や家族との関係、細やかな事等もその都度送りノートに記載するとともに、本人や家族の気持ちをくみ取れるよう送迎時などを利用して会話する時間を少しでも設ける

前回の改善計画に対する取組み結果

利用開始までに情報提供書や面談時の様子等を送りやノートを利用して、職員に周知している。通所や訪問時の様子などを職員間で共有するようにも努めている。本人や家族とは送迎時や連絡帳、電話などで話をし、状況に応じ利用変更を提案している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の情報やニーズについて、利用開始前にミーティング等を通じて共有していますか?	5	5	1		11
②	サービス利用時に、本人や家族・介護者が、まず必要としている支援ができていますか?	4	7			11
③	本人がまだ慣れていない時期に、訪問や通いでの声掛けや気遣いができていますか?	7	3	1		11
④	本人を支えるために、家族・介護者の不安を受け止め、関係づくりのための配慮をしていますか?	5	5	1		11

できている点

利用相談時や利用開始前に所長から説明および情報提供書の確認をするよう周知している。本人と家族との要望をできる限り取り入れるように心掛けている。利用時の様子やいつもと違うと思った際はご家族には連絡帳や電話・送迎時を利用して報告するとともに、日頃よりなげない会話を取り入れ、何でも話合える雰囲気作りをしている。わからないことは曖昧にせず、安心して頂けるよう心掛けている。

できていない点

夜勤専従や調理担当のため、限られた利用者とのコミュニケーションのため、全体的に利用者の状況を把握出来ていない。

次回までの具体的な改善計画 (200 字以内)

引き続き、口頭による送りやノートにより情報を共有して、接する機会が少ない職員に対しては、業務ミーティングなどを通じて全体像が見えるように説明し、情報の共有と共通の理解を持ち、支援していく。

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 ( 17:30 ~ 18:00 )

2. 「～したい」の実現 (自己実現の尊重)

メンバー 梶川 芦田 足立 山本 井上 齋藤 藤原  
足立 (洋) 岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組めましたか?	5 人	4 人	2 人	人	11 人

前回の改善計画	個別ケアを充実させるために、業務分担に個別ケアの担当をつくり、毎日一定の時間ケアできるようにする。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用人数や利用者の状態によって、職員が各々時間を作り、利用者と接する時間は格段と増えている。在宅生活するうえで身体的な能力が必要であると考え、体操に力を入れ、残存機能の維持に努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	「本人の目標 (ゴール)」がわかっていますか?	4	6	1		11
②	本人の当面の目標「～したい」がわかっていますか?	5	5	1		11
③	本人の当面の目標「～したい」を目指した日々のかかわりができていますか?	1	9	1		11
④	実践した (かかわった) 内容をミーティングで発言し、振り返り、次の対応に活かしていますか?	4	6	1		11

できている点	利用前までに情報提供書や所長、ケアマネの説明、また、ケアプランの把握をする。日々の関わりから日常の動作 (歩行や食事) の把握や会話から本人が自宅や事業所で何がしたいのかを知ろうと心掛けている。また、知り得た情報はミーティングや申送りノートを使用して情報を共有している。
--------	---

できていない点	各利用者のケアプランの把握は出来ておらず、目標をわかっていない方もいる。夜勤専従や調理担当職員は、限られた利用者とのコミュニケーションとなり、全体を把握出来ていない。各利用者の思いの深いところまでの理解は出来ていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	担当利用者だけではなく、他の方のケアプランの把握に努め、本人や家族との関わりの中で「～したい」を理解し、必要な支援を提供する。知り得た情報を職員間で共有し、少しでも利用者の希望に添えるサービスを提供していく。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成29年10月21日 ( 17:30 ~ 18:00 )

3. 日常生活の支援

メンバー 梶川 芦田 足立 山本 井上 齋藤 藤原  
足立(洋) 岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	5人	4人	1人	1人	11人

前回の改善計画	契約時に以前の暮らし方を詳細に伺うようにし、職員で共有する。利用開始されてからも職員個々が会話の中で情報収集を行い得た情報を申し送りノートに記載する。介護技術や調理に関してミーティングの時間を利用し、難しいと感じるケアについて話し合い、不安が除けるよう実技や事例検討などを行う。
前回の改善計画に対する取組み結果	契約時自宅訪問して、生活環境を確認し、その方にはどのような資源があるのかも会話の中から導きだそうと心掛けている。知り得た情報は、職員に周知している。また、情報提供書も参考にして関わり、そこから得られた情報も都度、申し送りにて情報共有している。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	本人の自宅での生活環境を理解するために「以前の暮らし方」が10個以上把握できていますか?	1	8	1	1	11
②	本人の状況に合わせた食事や入浴、排せつ等の基礎的な介護ができていますか?	4	6		1	11
③	ミーティングにおいて、本人の声にならない声をチームで言語化できていますか?	5	5		1	11
④	本人の気持ちや体調の変化に気づいたとき、その都度共有していますか?	5	5		1	11
⑤	共有された本人の気持ちや体調の変化に即時的に支援できていますか?	5	5		1	11

できている点	利用者によって疾病や認知症を持っておられ、その方に合わせた支援が出来ており、個々にあった食事や入浴、排せつ等の支援を提供できている。 日頃の関わりから得た情報を共有し、支援方法をその都度、話合っている。
--------	--

できていない点	利用者により利用形態や状態にバラつきがあることや、関わる時間が少なく、深く理解できていないこともある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	職員の気づきを申し送りやノートを利用して発信していき、利用者の気持ちやニーズを多方面から見ている、対応していく。職員が不安のない介護技術の習得のため、介護技術の研修を行っていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 ( 17:30 ~ 18:00 )

4. 地域での暮らしの支援

メンバー 梶川 芦田 足立 山本 井上 齋藤 藤原  
足立(洋) 岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	1人	7人	2人	1人	11人

前回の改善計画	<p>所長やケアマネが民生委員との関わりより得た情報を朝の申し送り時に職員に伝え共有する。地域資源にはどのようなものがあるのかを朝の申し送りの時間を利用して説明する。</p>
前回の改善計画に対する取組み結果	<p>民生委員との関わりの中で、必要な情報については、朝の申し送りを利用して情報共有できている。利用者家族とその方を取り巻く社会資源にはどのようなものがあるのかを相談時や契約時に把握し、使える資源に関して職員間で情報共有し、統一のサービスに繋げている。</p>

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	本人のこれまでの生活スタイル・人間関係等を理解していますか?	3	7		1	11
②	本人と、家族・介護者や地域との関係が切れないように支援していますか?	2	7		2	11
③	事業所が直接接していない時間に、本人がどのように過ごしているか把握していますか?	1	8	1	1	11
④	本人の今の暮らしに必要な民生委員や地域の資源等を把握していますか?	1	6	2	2	11

できている点	<p>情報提供書や相談、契約時に得た情報を共有して関わっている。また、関わることにより、新たな情報が得られるので、申し送りやノートにより共有できている。 ケアプラン作成時にあたり、利用者の取り巻く環境や社会資源を考え、ニーズの把握に努めている。</p>
--------	--

できていない点	<p>利用者によっては独居や身体的な低下により、地域との関わりが薄くなっている方もある。その方と地域との関わり方の支援という部分に対して、懸け橋になるような支援が全員には出来ていない。</p>
---------	--

次回までの具体的な改善計画	<p>利用者と地域との関わり方の理解を深めるために、相談時や契約時にその方の取り巻く社会資源を確認し、今までの生活歴等を詳しく知り、多方面からアプローチ出来ないかを検討する。また、違った観点から見るためにも、職員間での意見交換の場を設けていく。</p>
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 ( 17 : 30 ~ 18 : 00 )

5. 多機能性ある柔軟な支援

メンバー 梶川 芦田 足立 山本 井上 齋藤 藤原  
足立 (洋) 岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	人	人	人	人

前回の改善計画	
前回の改善計画に対する取組み結果	

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	自分たち事業所だけで支えようとせず、地域の資源を使って支援していますか?		9	2		11
②	ニーズに応じて「通い」「訪問」「宿泊」が妥当適切に提供されていますか?	6	5			11
③	日々のかかわりや記録から本人の「変化」に気づき、ミーティング等で共有することができていますか?	6	5			11
④	その日・その時の本人の状態・ニーズに合わせて柔軟な支援ができていますか?	5	6			11

できている点	その日の本人の状態に合わせてサービス内容を検討し、適切なサービスが来ている。また、本人や家族の状態により、急な利用形態にも対応している。日頃より、利用者の細かな状態変化を連絡帳や電話連絡にて家族に報告し、情報共有している。
--------	---

できていない点	本人と家族との想いにズレがあり、本人はご自宅で居たいと思っても、家族は自宅で一人にさせるのは不安があるため、なかなか自宅での時間を設けることが少なく、通所利用になっており、本人の想いに上手に対応できないことがある。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	継続して、本人の状態変化の報告と利用形態の変更を組み合わせ、本人と家族共に出来るだけ負担がないようにし、在宅生活の支援を行っていく。また、その方の取り巻く、社会資源には何があるかを話し合い、利用できるものは取り入れていく。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 ( 17 : 30 ~ 18 : 00 )

6. 連携・協働

メンバー 梶川 芦田 足立 山本 井上 齋藤 藤原  
足立 (洋) 岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	5 人	2 人	人	11 人

前回の改善計画	随時相談を継続していく。学校行事の運動会・文化祭に参加できるように年度末までに調整する。丹波の森公園のイベントに参加し、外出機会を増やす。
前回の改善計画に対する取組み結果	随時相談は全て受けており、所長やケアマネ不在時にも職員が対応している。木の根センターの行事等の地域行事には参加している。地域行事にも声を掛けて頂いているので参加できている。今後も参加できる機会をもっと設けていく。外出機会については、定期的に外出レクを設けているので継続していきたい。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	その他のサービス機関 (医療機関、訪問看護、福祉用具等の他事業所) との会議を行っていますか?	2	5	3	1	11
②	自治体や地域包括支援センターとの会議に参加していますか?	2	1	2	6	11
③	地域の各種機関・団体 (自治会、町内会、婦人会、消防団等) の活動やイベントに参加していますか?		6	3	2	11
④	登録者以外の高齢者や子ども等の地域住民が事業所を訪れますか?	4	6	1		11

できている点	事業所にはボランティアが来られ、民生委員を通じた相談会を設けるなど、来所機会を作っており、随時相談にも対応している。 音楽療法を実施しており、見学の方にも参加して頂いている。
--------	--

できていない点	他業種との関わりは主にケアマネが関わっており、一職員としては出来ていない。また、地域との関わりが薄く、行事等の参加ができていない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	随時相談は継続し、どなたでも気軽に立ち寄れる事業所にしていく。その為にも、学校や自治会との関係性を築くためにも、年間行事予定を計画的に作成し、積極的に地域と関わっていく。また、事業所内の行事にも参加してもらうように自治会や民生委員を通じ、地域の方に呼びかけを行う。
---------------	--

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 ( 17:30 ~ 18:00 )

7. 運営

メンバー 梶川 芦田 足立 山本 井上 齋藤 藤原  
足立 (洋) 岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	4 人	5 人	2 人	人	11 人

前回の改善計画	利用者や家族、地域の声で得た情報について、月ミーティングにて職員間で情報共有し課題として捉え改善策を講じる。住民の方が自由に参加できる行事を年間 2 回 (4 月・10 月) は行い、地域に周知を図り気軽に立ち寄れる場所にしていく。
前回の改善計画に対する取組み結果	利用者や家族との関わりで得た情報は申送りや業務ミーティング時に伝えることで、情報共有が出来る。地域の方が参加できる行事として、民生委員を通じて、地域の方と介護保険の仕組みや意見交換の場を設け、40 名近い方が参加された。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	事業所のあり方について、職員として意見を言うことができますか?	5	6			11
②	利用者、家族・介護者からの意見や苦情を運営に反映していますか?	6	5			11
③	地域の方からの意見や苦情を運営に反映していますか?	3	5		2	11
④	地域に必要とされる拠点であるために、積極的に地域と協働した取組みを行っていますか?		6	5		11

できている点	職員が発言しやすい環境で、事業所の信頼向上に向け日々発言している。また、日頃より利用者や家族の意見や要望等を申送りやノート等で周知し、それに対して、どのようにしていくかを決定出来ている。
--------	---

できていない点	地域との関わりが薄く、地域からの意見が汲み取れていない。また、地域からの意見等は聞いたことがない。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	地域の年間行事等に積極的に参加し、関係性の構築に努める。また、定期的に地域の方が気軽に参加できる事業所の催しを設ける。
---------------	---

事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 ( 17 : 30 ~ 18 : 00 )

8. 質を向上するための取組み

メンバー 梶川 芦田 足立 山本 井上 齋藤 藤原  
足立 (洋) 岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	3 人	5 人	3 人	人	11 人

前回の改善計画
事業所に届けられる研修資料を回覧し、参加を促す。また、職員個々にあった研修を提案する。何らかの研修や会議に参加した者は、職場に持ち帰り、朝の申し送りまたはミーティングのはじめに研修報告という形で参加できていない職員に対し周知し情報を共有する。
前回の改善計画に対する取組み結果
研修資料を回覧してはいるが、参加を促すまでには至っていない。事業所内での研修では担当を決め、ミーティングを利用し、研修を行えている。外部研修では、参加した職員が他の職員に周知するように努めている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計 (総人数)
①	研修 (職場内・職場外) を実施・参加していますか	3	8			11
②	資格取得やスキルアップのための研修に参加できていますか	3	2	4	2	11
③	地域連絡会に参加していますか	2		3	6	11
④	リスクマネジメントに取り組んでいますか	4	7			11

できている点
事業所内研修では担当制を用いており、月一回ミーティングを含めて行えている。常にリスクマネジメントを心掛け、ひやりはっとの事例は申送りやノートにて周知している。

できていない点
地域連絡会の参加は所長やケアマネが主であり、実際参加できていない。

次回までの具体的な改善計画
地域連絡会等の会議で話された内容も申送りやミーティングを利用して周知に努める。当事業所ではキャリアパス制度を導入しており、日頃から学習できるように意識する。また、必要に応じ声を掛け、意識付ける。



事業所自己評価・ミーティング様式

実施日 平成 29 年 10 月 21 日 ( 17:30 ~ 18:00 )

9. 人権・プライバシー

メンバー 梶川 芦田 足立 山本 井上 齋藤 藤原  
足立(洋) 岸本

◆前回の改善計画に対する取組み状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	前回の課題について取り組みましたか?	人	1人	7人	3人	11人

前回の改善計画	今後、成年後見制度を必要とされる方が利用されるかもしれないため、事業所内年間研修の項目の一つとして組み込む。(制度の研修を専門職に依頼する)
前回の改善計画に対する取組み結果	成年後見人制度の研修まで至っていないが、事業所での研修にて、認知症の理解を深めたり、身体拘束やプライバシーの保護、個人情報等の研修を行ったりし、ご利用者に関わりをもつようにしている。

◆今回の自己評価の状況

個人チェック集計欄		よく できている	なんとか できている	あまり できていない	ほとんど できていない	合計(総人数)
①	身体拘束をしていない	7	4			11
②	虐待は行われていない	10	1			11
③	プライバシーが守られている	6	5			11
④	必要な方に成年後見制度を活用している	1	1	5	4	11
⑤	適正な個人情報の管理ができている	7	4			11

できている点	在宅でつなぎ服(拘束着)を使用の方が居られるが、事業所内では見守りや確認につとめ、つなぎ服を使用せず、私服に着替えてもらい基本的に身体拘束ゼロを徹底している。押し付け、強制的になったり、言動を否定しないよう言葉がけし、利用者の自尊心の尊重につとめている。
--------	---

できていない点	成年後見人制度の対象者がおられないため、活用していない。また、制度自体の理解が乏しい。調理担当職員であるため身体拘束や虐待についての理解が乏しい。
---------	---

次回までの具体的な改善計画	研修項目を見直し、来年度は優先的に成年後見制度研修を行い、利用者だけでなく、相談者が来られても対応ができるようにする。また、直接関わりが少ない職員に対しても、事業所内研修にて必要な知識を身につける。
---------------	---

小規模多機能型居宅介護「サービス評価」 総括表

法人名	医療法人社団 紀洋会	代表者	岡本 のぶ子	法人・事業所の特徴	法人運営理念「地域に根ざした誠実でより良い医療・介護の実践」に基づき、当事業所でも取り組んでおり、まずは誠実であることから信頼に繋げていきたいと支援しています。特に在宅での生活を如何にサポートするかを本人や家族と協力しながら事業所の運営を行ってきました。地域に根ざしているかと言われると、まだまだ力不足ではありますが、少しでも困った方がおられたら快く、相談できるような雰囲気作りには心掛けました。
事業所名	小規模多機能型居宅介護 柏原の郷	管理者	梶川 丞		

出席者	市町村職員	知見を有するもの	地域住民・地域団体	利用者	利用者家族	地域包括支援センター	近隣事業所	事業所職員	その他	合計
	1人	0人	2人	0人	2人	0人	0人	1人	1人	7人

項目	前回の改善計画	前回の改善計画に対する取組み・結果	意見	今回の改善計画
A. 事業所自己評価の確認	外部の方が事業所評価を行えるように地域交流を図り、関わりをもつ。	家族や民生委員、外部評価に関わる方には来所される機会があるが、地域の方との交流は事業所を主とした取り組みは出来ておらず、地域行事に参加する形で関わりを持っている。	入りやすい環境ですが、防犯も気になる。	行事担当を設け、地域交流を図っていき立ち寄りやすい事業所にしていく。
B. 事業所のしつらえ・環境	広報を配布し、事業所の周知してもらい理解、来所してもらいやすい環境作りをしていく。	広報作成されているが、地域の方に広報確認してもらえぬ機会が作れていない。	相談や用事等がないと、こういう（福祉施設）には来所されないと思う。地域の行事に参加して周知からはじめてはどうか。	自治会や幼稚園、中学校といった地域行事に参加。また参加型の行事を計画し地域交流を設けて、気軽に立ち寄れるよう周知から始める。 定期広報を配布および自治会にも回覧できるかはわからないが定期的に渡し、自治会に困った際に相談に来やすいようにする。
C. 事業所と地域のかかわり	地域交流行事を年2回行い、事業所、職員を知ってもらい、話しやすい関係作りをする。	地域の行事には参加出来ているが、事業所を主とした行事開催まで至っていない。	地域に対して、行事を設ける必要はあるのか。職員の負担になるのではないか。	地域行事担当を設け、年間行事として計画・実行していく。地域の方が立ち寄り易くするためにも、どなたでも参加できる催しを計画する。

<p>D. 地域に出向いて 本人の暮らしを 支える取組み</p>	<p>今後、地域として必要とされる事業所を 目指し、集会や地域行事に参加していき、 事業所も地域資源のひとつと位置づけら れるように地域と関わりをもっていきたい。</p>	<p>定期的な地域行事には参加出来てい るが集会への参加までは至っておら ず、まだまだ周知されていない。</p>	<p>自治会で年間行事が組み込 まれているので、そこから 参加するようにしたらどう か。 地域行事に参加した時に連 絡帳などに記載してほしい。</p>	<p>自治会の年間行事に参加し、事業所の 知ってもらおう。何かあったら相談しや すい環境を整える。</p>
<p>E. 運営推進会議を 活かした取組み</p>	<p>継続して、民生委員からの相談にのると ともに、事業所からも声を掛け連携をと っていく。  運営推進会議で出た意見について、職員 に情報を共有するとともに改善を図る。 また、それに対するとりくみを会議で伝 えるようにする。</p>	<p>民生委員からの提案で相談会を実施 し、介護保険や介護サービスについて 話をする場を設け意見交換が出来て いる。 会議等の情報は職員と共有 し、職員からの意見も参考にしてい る。</p>	<p>地域で困っている高齢者だ けでなく子供たちも沢山い るので、そういった子供た ちに場を提供してはどう か。</p>	<p>随時相談を継続していく。 行事で地域住民（子供も含む）が参加 しやすい企画を立案・実行していく。</p>
<p>F. 事業所の 防災・災害対策</p>	<p>避難訓練時に地域の方にも参加、協力し てもらい、災害時に柏原の郷としてでき る支援を一緒に考えていきたい。また、 地域の避難訓練にも参加していく。</p>	<p>地域の方との避難訓練は図れていな い。</p>	<p>崇広幼稚園が避難場所にな っているが、避難までの経 路が危険なので、警察署に 声を掛けてはどうか。</p>	<p>避難場所の確認し安全で安心出来る 避難経路を確立する。 自治会年間行事の消防活動に参加す る。</p>